

平成30年度 蒲郡市人口動態報告

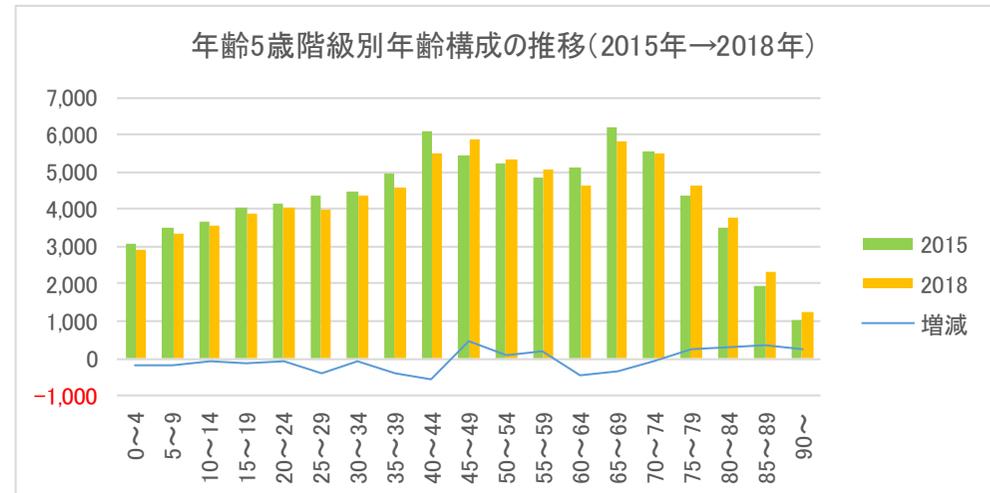
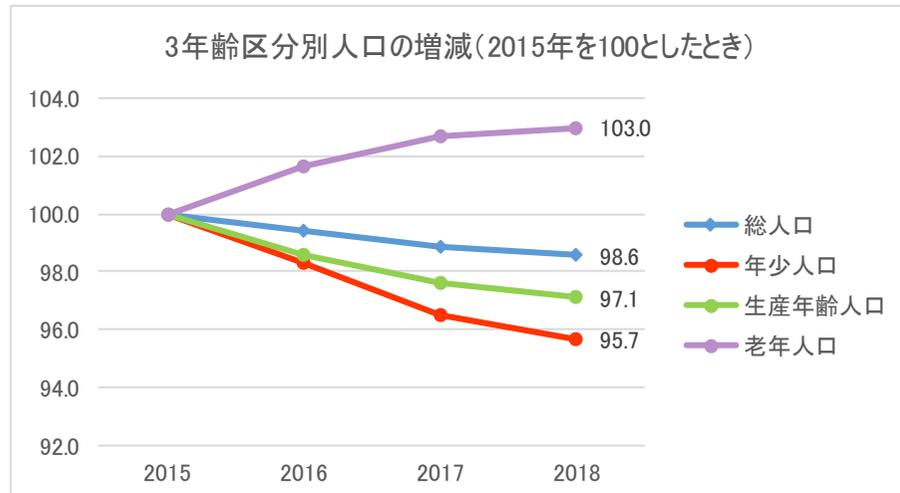
1 人口と推移（2018年4月1日現在）

(1) 概要

- 総人口は、前年比△255人となった。
- 世帯数は年々増加している。
- 年少人口と生産年齢人口は、2016年、2017年と比較して減少数は縮小したものの、減少が進んでいる。
- 高齢化率は28.9%で、高齢化が進んでいる。
- 総人口の3.4%が外国人であり、増加している。

＜表1 人口と世帯数の推移＞ 出典：市民課「町別年齢別人口」より算出（基準日：各年4月1日）

西暦	総人口		世帯数		人数/ 世帯	年少人口			生産年齢人口			老年人口			日本人		外国人		
	数値	前年比	数値	前年比		数値	前年比	比率	数値	前年比	比率	数値	前年比	比率	数値	前年比	数値	前年比	比率
2015	81,547		31,284		2.61	10,270		12.6%	48,686		59.7%	22,591		27.7%	79,339		2,208		2.7%
2016	81,078	-469	31,452	168	2.58	10,095	-175	12.5%	48,013	-673	59.2%	22,970	379	28.3%	78,723	-616	2,355	147	2.9%
2017	80,634	-444	31,685	233	2.54	9,913	-182	12.3%	47,529	-484	58.9%	23,192	222	28.8%	78,088	-635	2,546	191	3.2%
2018	80,379	-255	32,081	396	2.51	9,828	-85	12.2%	47,283	-246	58.8%	23,268	76	28.9%	77,654	-434	2,725	179	3.4%



(2) 総代 7 地区別人口の推移

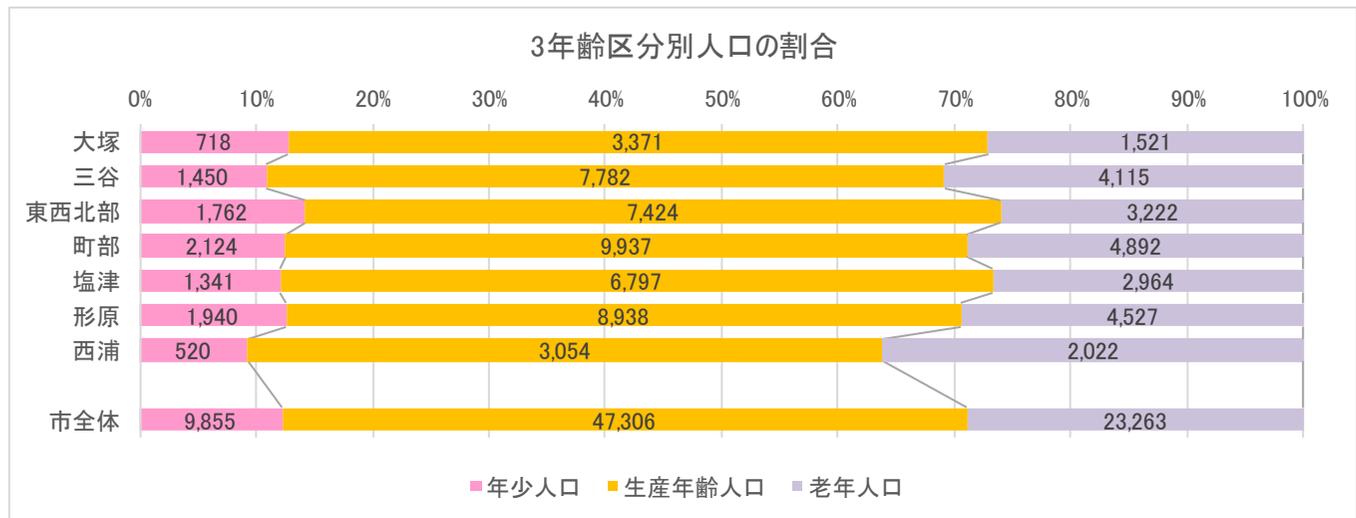
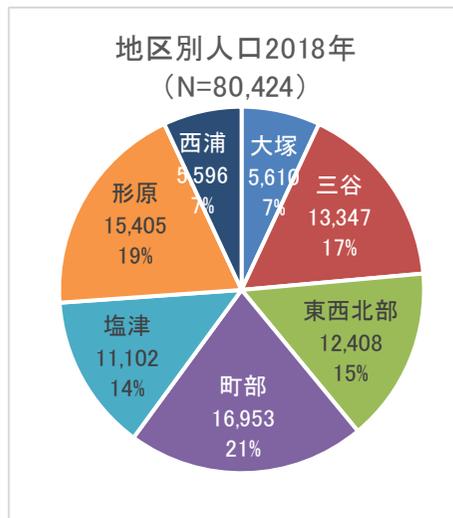
ア 地区別の人口 (2018 年 4 月 1 日現在)

- 塩津地区は唯一人口増となり、日本人・外国人共に増加した。
- 三谷・東西北部・形原・西浦地区では人口減少数が 50 人を超えている。
- 三谷・西浦地区は高齢化率が 30% を超えており、町部・形原地区にいても全体平均 (28.9%) より高い。
- 全地区において外国人が前年と比べ増加している。

特に大塚・三谷・塩津地区は外国人率が市全体の外国人比率 (3.4%) より高い。

<表 2 地区別人口> 出典：市民課提供データより算出 (基準日:2018 年 4 月 1 日) ※抽出作業日の違いにより表 1 とは合計数値が異なる。

地区名	総人口		世帯数		人数/ 世帯	年少人口			生産年齢人口			老年人口			日本人		外国人		
	数値	前年比	数値	前年比		数値	前年比	比率	数値	前年比	比率	数値	前年比	比率	数値	前年比	数値	前年比	比率
大塚	5,610	-34	2,208	16	2.54	718	-8	12.8%	3,371	-49	60.1%	1,521	23	27.1%	5,295	-35	315	1	5.6%
三谷	13,347	-123	5,663	29	2.36	1,450	-26	10.9%	7,782	-69	58.3%	4,115	-28	30.8%	12,802	-135	545	12	4.1%
東西北部	12,408	-81	4,501	25	2.76	1,762	-3	14.2%	7,424	-73	59.8%	3,222	-5	26.0%	12,179	-127	229	46	1.8%
町部	16,953	3	7,026	91	2.41	2,124	1	12.5%	9,937	-21	58.6%	4,892	23	28.9%	16,546	-32	407	35	2.4%
塩津	11,102	160	4,786	175	2.32	1,341	7	12.1%	6,797	84	61.2%	2,964	69	26.7%	10,343	102	759	58	6.8%
形原	15,405	-97	5,793	51	2.66	1,940	-51	12.6%	8,938	-70	58.0%	4,527	24	29.4%	14,987	-121	418	24	2.7%
西浦	5,596	-62	2,156	15	2.60	520	0	9.3%	3,054	-28	54.6%	2,022	-34	36.1%	5,543	-65	53	3	0.9%



イ 地区別人口の推移（年齢 3 区分別）

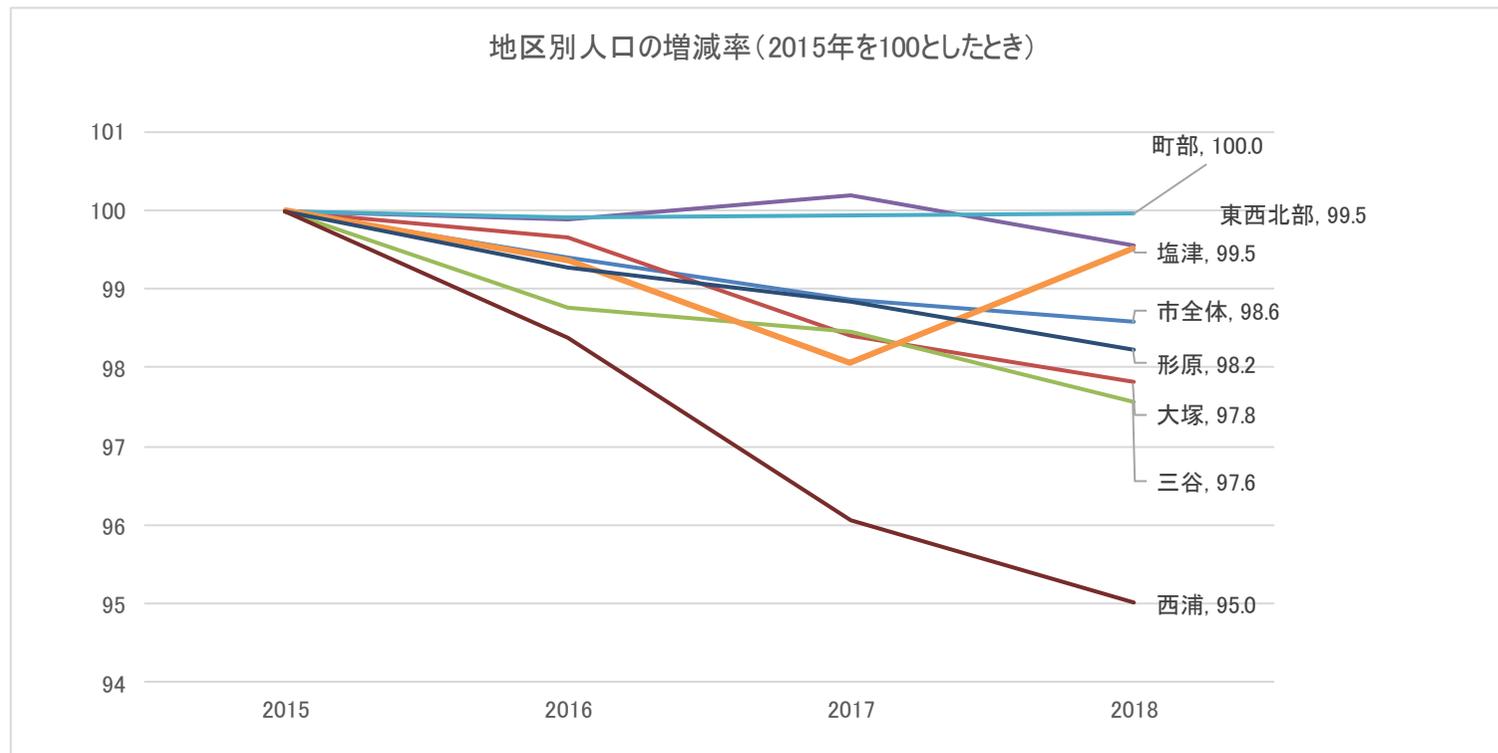
○大塚、三谷、形原・西浦地区では、減少幅が市全体を上回っている。特に西浦地区は 7 地区のうち最も低い。

○東西北部・町部・塩津地区では、減少幅が市全体を下回っている。

町部はほぼ変化がなく、塩津地区は 2018 年に前年比増となっている。

<表 3 地区別人口の推移> 出典：市民課提供データより算出（基準日：各年 4 月 1 日）※抽出作業日の違いにより表 1 とは合計数値が異なる。

西暦	大塚		三谷		東西北部		町部		塩津		形原		西浦	
	数値	前年比	数値	前年比	数値	前年比	数値	前年比	数値	前年比	数値	前年比	数値	前年比
2015	5,735		13,681		12,465		16,960		11,157		15,682		5,890	
2016	5,715	-20	13,513	-168	12,450	-15	16,947	-13	11,087	-70	15,567	-115	5,795	-95
2017	5,644	-71	13,470	-43	12,489	39	16,950	3	10,942	-145	15,502	-65	5,658	-137
2018	5,610	-34	13,347	-123	12,408	-81	16,953	3	11,102	160	15,405	-97	5,596	-62

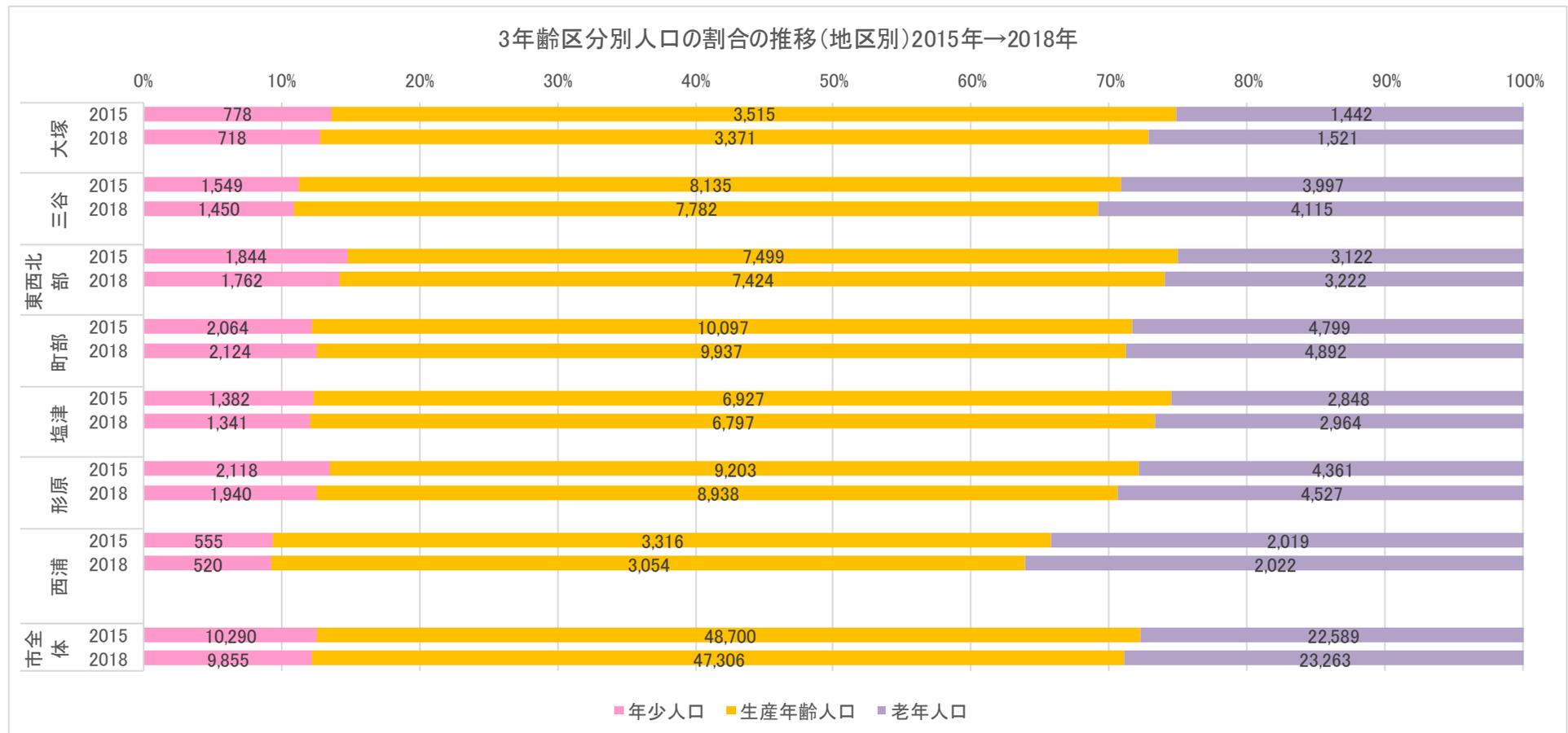


○ほぼ全ての地区において、年少人口・生産年齢人口が減少し、老年人口が増加している。

ただし、町部だけは唯一年少人口が増加している。

<表 4 3年年齢区分別人口の推移（地区別）> 出典：市民課提供データより算出（基準日：各年4月1日）※抽出作業日の違いにより表1とは合計数値が異なる。

西暦	大塚			三谷			東西北部			町部			塩津			形原			西浦		
	年少	生産	老年	年少	生産	老年	年少	生産	老年	年少	生産	老年	年少	生産	老年	年少	生産	老年	年少	生産	老年
2015	778	3,515	1,442	1,549	8,135	3,997	1,844	7,499	3,122	2,064	10,097	4,799	1,382	6,927	2,848	2,118	9,203	4,361	555	3,316	2,019
2016	753	3,487	1,475	1,496	7,942	4,075	1,789	7,460	3,201	2,102	10,039	4,806	1,368	6,826	2,893	2,057	9,047	4,463	547	3,199	2,049
2017	726	3,420	1,498	1,476	7,851	4,143	1,765	7,497	3,227	2,123	9,958	4,869	1,334	6,713	2,895	1,991	9,008	4,503	520	3,082	2,056
2018	718	3,371	1,521	1,450	7,782	4,115	1,762	7,424	3,222	2,124	9,937	4,892	1,341	6,797	2,964	1,940	8,938	4,527	520	3,054	2,022



(3) 外国人人口の推移

ア 概要

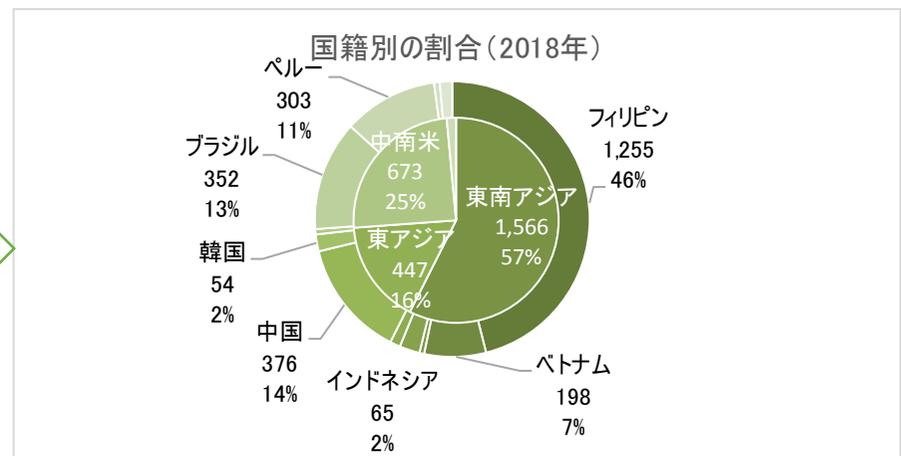
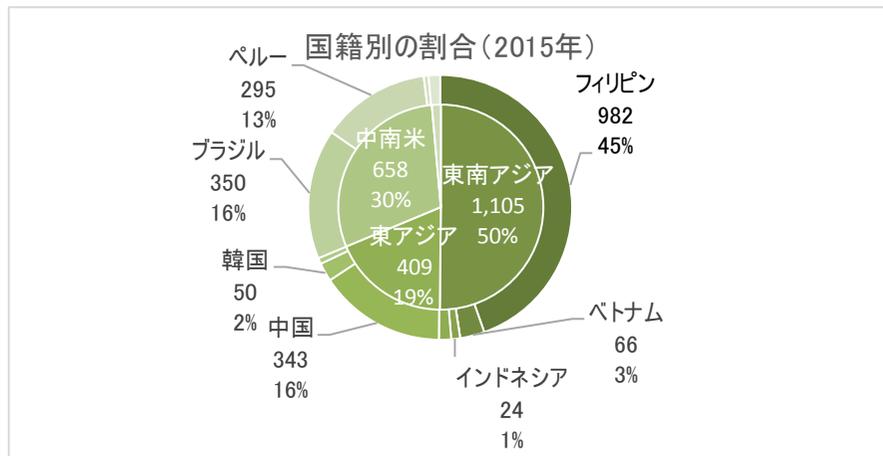
- 地域別では、東南アジア、東アジア、中南米の順に多く、この3地域だけで99%を占めている。
- 国籍別では、フィリピン・中国・ブラジル・ペルーが多く、この4カ国だけで83%を占めている。
- 2015年から2018年にかけて、東南アジアの割合が7%増加した。

<表5 地域別人口の推移> 出典：市民課提供データより算出（基準日：各年4月1日）※抽出作業日の違いにより表1とは数値が異なる。

西暦	外国人		東南アジア		東アジア		中南米		アフリカ		ヨーロッパ		北米		オセアニア		中東	
	数値	前年比	数値	前年比	数値	前年比	数値	前年比	数値	前年比	数値	前年比	数値	前年比	数値	前年比	数値	前年比
2015	2,203		1,105		409		658		3		21		3		2		2	
2016	2,354	151	1,230	125	423	14	666	8	3	0	21	0	4	1	3	0	4	2
2017	2,549	195	1,420	190	426	3	670	4	3	0	19	-2	8	4	1	-1	2	-2
2018	2,726	177	1,566	146	447	21	673	2	4	1	21	2	10	2	2	0	3	1

<表6 国籍別人口の推移（主な国のみ抜粋）> 出典：市民課提供データより算出（基準日：各年4月1日）※抽出作業日の違いにより表1とは数値が異なる。

西暦	東南アジア										東アジア						中南米					
	フィリピン		ベトナム		カンボジア		インドネシア		その他		中国		韓国		その他		ブラジル		ペルー		その他	
	数値	前年比	数値	前年比	数値	前年比	数値	前年比	数値	前年比	数値	前年比	数値	前年比	数値	前年比	数値	前年比	数値	前年比	数値	前年比
2015	982		66		0		24		33		343		50		16		350		295		13	
2016	1,084	102	85	19	0	0	28	4	33	0	353	10	52	2	18	2	349	-1	304	9	13	0
2017	1,175	91	148	63	24	24	39	11	34	1	354	1	52	0	20	2	350	1	308	4	12	-1
2018	1,255	80	198	50	15	-9	65	26	33	-1	376	22	54	2	17	-3	352	2	303	-5	18	6

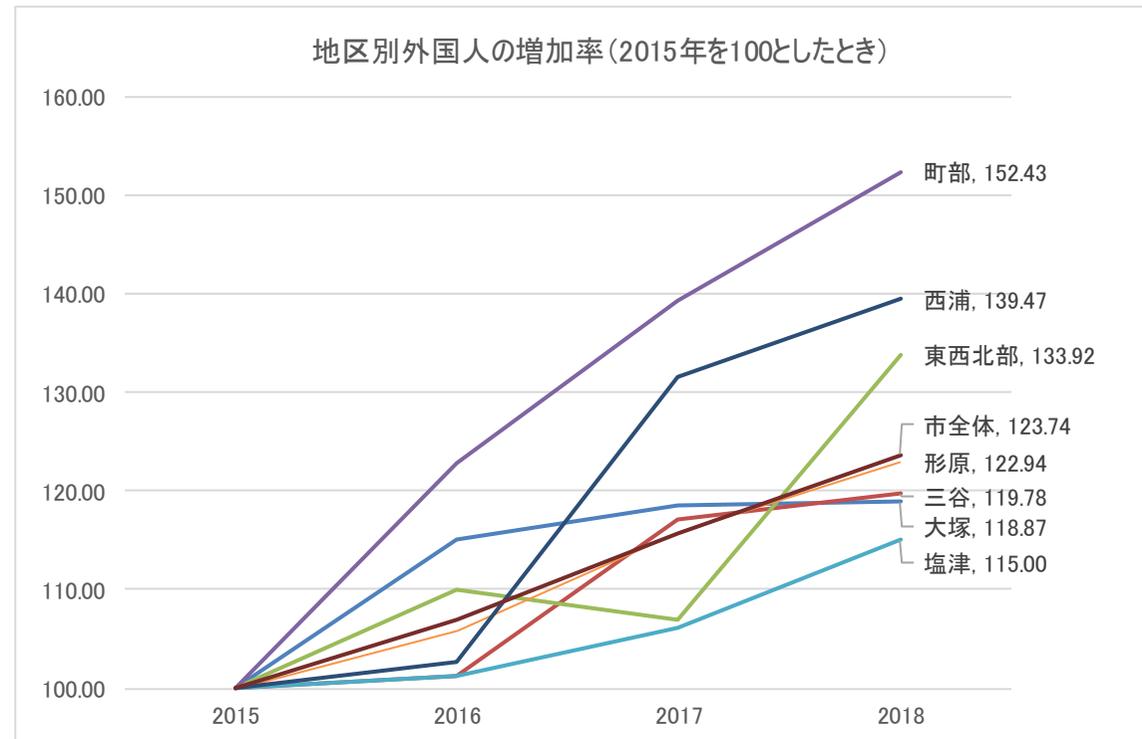
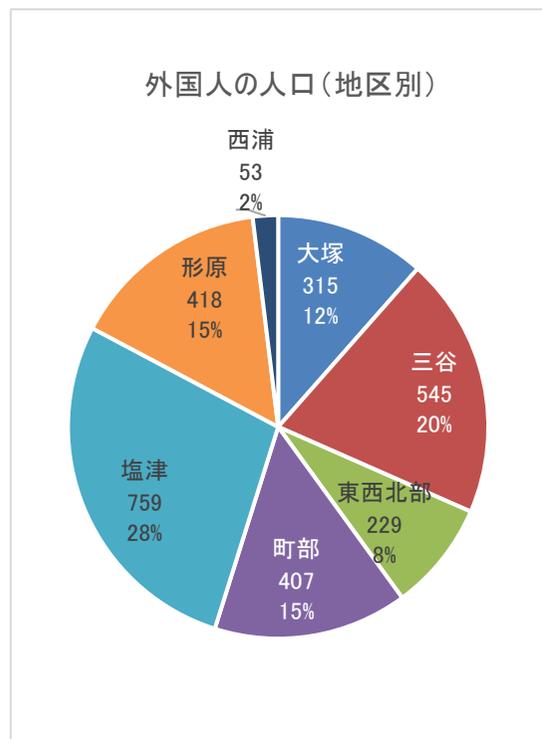


イ 外国人人口の推移（地区別）

- 外国人人口は、塩津・三谷・形原・町部・大塚地区の順に多い。
- 全ての地区において、外国人の数は増加しており、2015年と比較した増加率は町部が最も高い。
- 地区内の人口比率では、塩津地区が6.8%と最も高く、次いで大塚（5.6%）、三谷（4.1%）となっている。

<表 7 外国人人口の推移（地区別）> 出典：市民課提供データより算出（基準日：各年4月1日）※抽出作業日の違いにより表1とは合計数値が異なる。

西暦	大塚			三谷			東西北部			町部			塩津			形原			西浦		
	数値	前年比	比率	数値	前年比	比率	数値	前年比	比率	数値	前年比	比率	数値	前年比	比率	数値	前年比	比率	数値	前年比	比率
2015	265		4.6%	455		3.3%	171		1.4%	267		1.6%	660		5.9%	340		2.2%	38		0.6%
2016	305	40	5.3%	461	6	3.4%	188	17	1.5%	328	61	1.9%	668	8	6.0%	360	20	2.3%	39	1	0.7%
2017	314	9	5.6%	533	72	4.0%	183	-5	1.5%	372	44	2.2%	701	33	6.4%	394	34	2.5%	50	11	0.9%
2018	315	1	5.6%	545	12	4.1%	229	46	1.8%	407	35	2.4%	759	58	6.8%	418	24	2.7%	53	3	0.9%

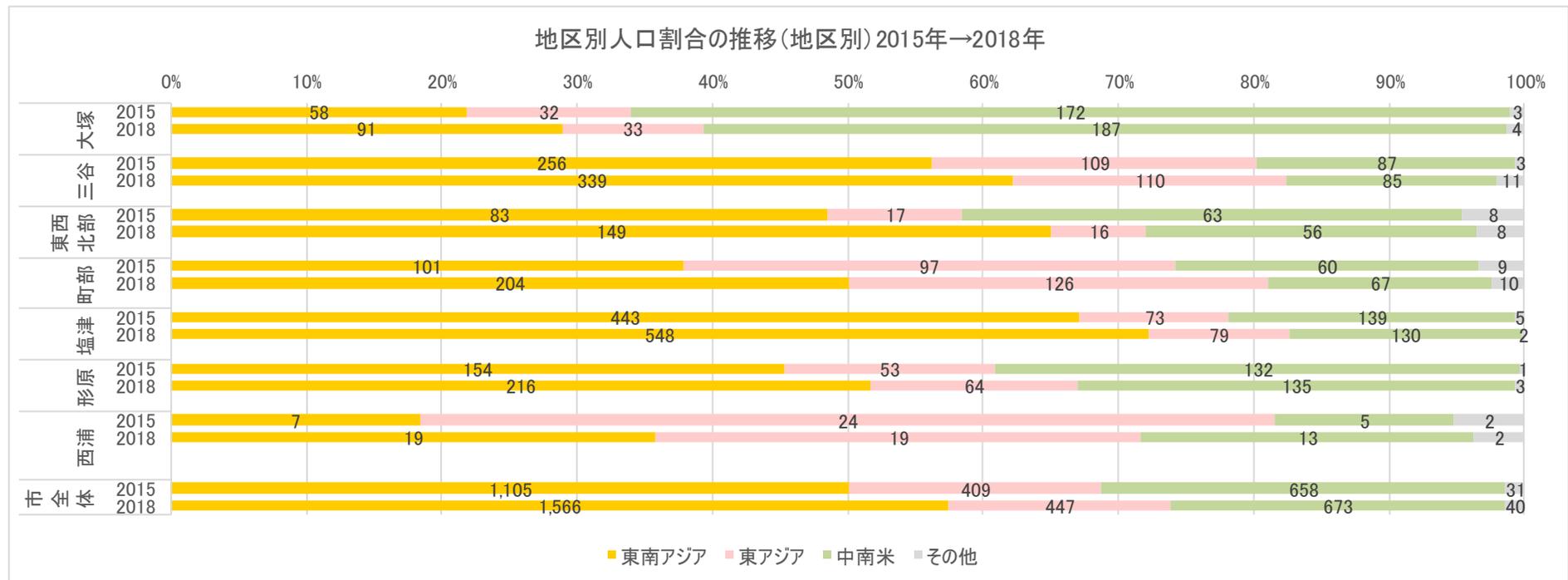


○大塚・形原地区では、他地区に比べて中南米地域の割合が多い。

また、全ての地区において、2015年から2018年にかけて東南アジアの割合が増加している。

<表 8 地域別人口の推移（地区別）> 出典：市民課提供データより算出（基準日：各年4月1日）※抽出作業日の違いにより表1とは合計数値が異なる。

西暦	大塚				三谷				東西北部				町部				塩津				形原				西浦			
	東南ア	東ア	中南米	その他	東南ア	東ア	中南米	その他	東南ア	東ア	中南米	その他	東南ア	東ア	中南米	その他	東南ア	東ア	中南米	その他	東南ア	東ア	中南米	その他	東南ア	東ア	中南米	その他
2015	58	32	172	3	256	109	87	3	83	17	63	8	101	97	60	9	443	73	139	5	154	53	132	1	7	24	5	2
2016	81	30	190	4	261	114	80	6	95	15	69	9	153	105	61	9	463	76	124	5	167	59	134	0	9	20	8	2
2017	94	34	182	4	304	111	109	9	101	16	56	10	198	110	58	6	513	69	117	2	195	59	140	0	15	25	8	2
2018	91	33	187	4	339	110	85	11	149	16	56	8	204	126	67	10	548	79	130	2	216	64	135	3	19	19	13	2



2 移動数の推移

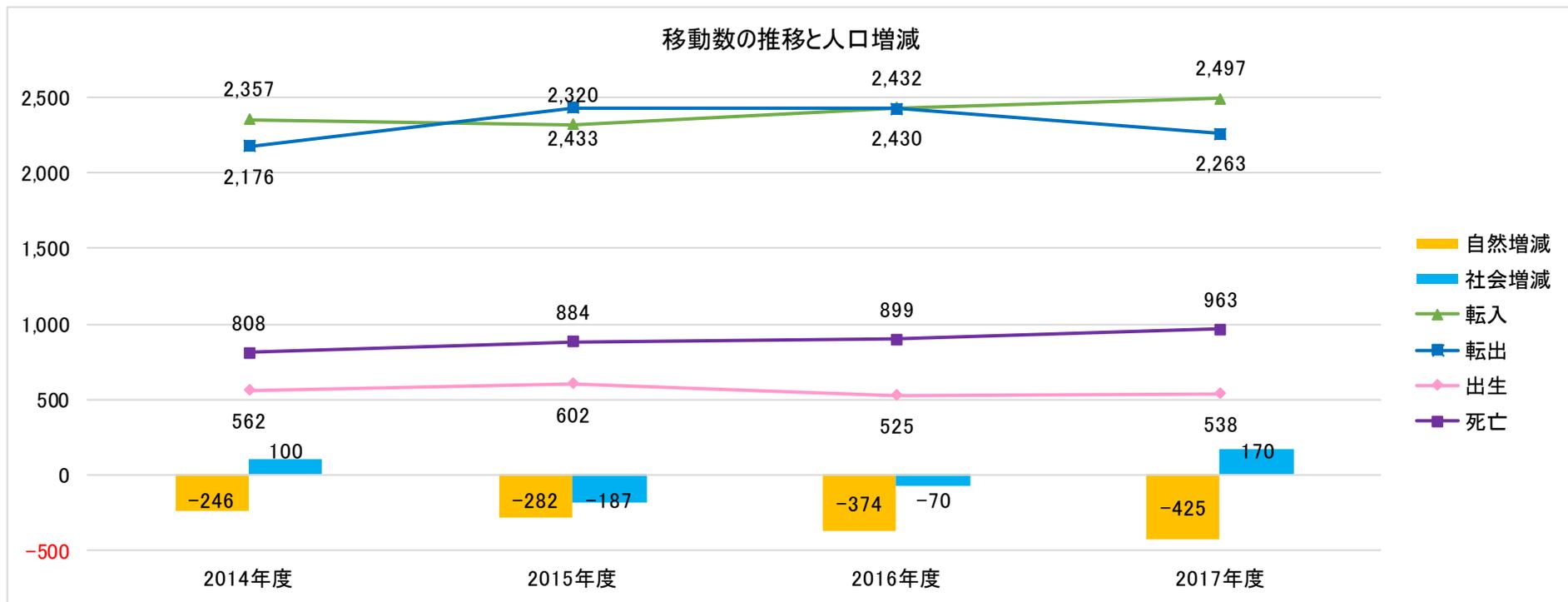
○自然減は年々拡大傾向にあり、2017年度は△425人と過去4年間で最大となった。

○2017年度は社会増となったが、自然減が社会増を上回り、全体的人口は減少となった。

＜表9 移動数の推移＞ 出典：市民課「人口・世帯の推移」 ※社会増減=(転入+他増)-(転出+他減)

年度	総人口	世帯数	出生	死亡	転入	転出	(転居)	他増	他減	自然増減	社会増減	全体増減
2014年度	81,693	30,872	562	808	2,357	2,176	(2,722)	71	152	-246	100	-146
2015年度	81,547	31,284	602	884	2,320	2,433	(2,589)	56	130	-282	-187	-469
2016年度	81,078	31,452	525	899	2,432	2,430	(2,581)	51	123	-374	-70	-444
2017年度	80,634	31,685	538	963	2,497	2,263	(2,801)	49	113	-425	170	-255

※他増／他減・・・職権による消除・回復など(現地調査等により居住の事実がないことが明らかになった場合、外国人が転出届をせずに出国した場合など)



3 地区別の出生数と死亡数（2017年度）

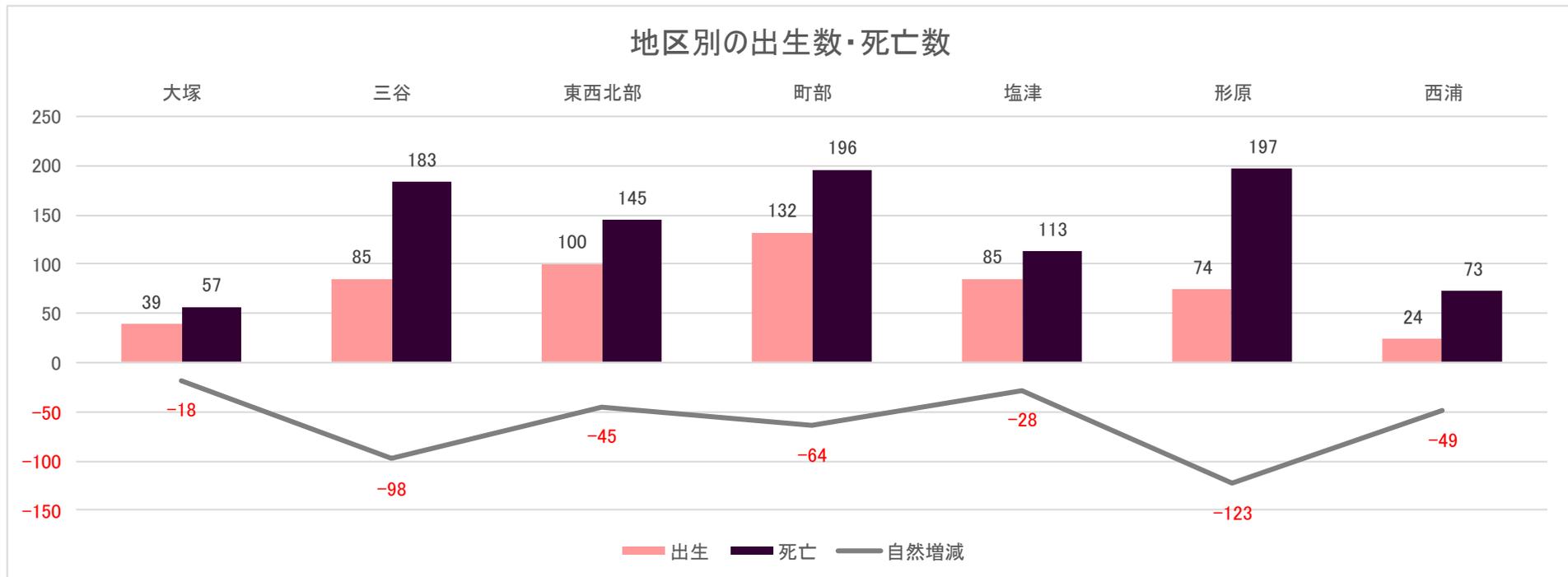
○全ての地区において自然減となっている。

○三谷・形原・西浦地区では地区人口に対する死亡者の割合が1.3%以上と市全体を上回っている。

同様に、地区人口に対する自然減数の割合も、市全体を上回っている。

<表 10 地区別出生・死亡数> 出典：市民課提供データより算出（2017年4月1日～2018年3月31日 移動分）

	大塚		三谷		東西北部		町部		塩津		形原		西浦		合計	
	数値	比率	数値	比率	数値	比率	数値	比率	数値	比率	数値	比率	数値	比率	数値	比率
人口(2017/4/1)	5,644		13,470		12,489		16,950		10,942		15,502		5,658		80,655	
出生	39	0.7%	85	0.6%	100	0.8%	132	0.8%	85	0.8%	74	0.5%	24	0.4%	539	0.7%
死亡	57	1.0%	183	1.4%	145	1.2%	196	1.2%	113	1.0%	197	1.3%	73	1.3%	964	1.2%
自然増減	-18	-0.3%	-98	-0.7%	-45	-0.4%	-64	-0.4%	-28	-0.3%	-123	-0.8%	-49	-0.9%	-425	-0.5%



4 転出・転入（2017年度）

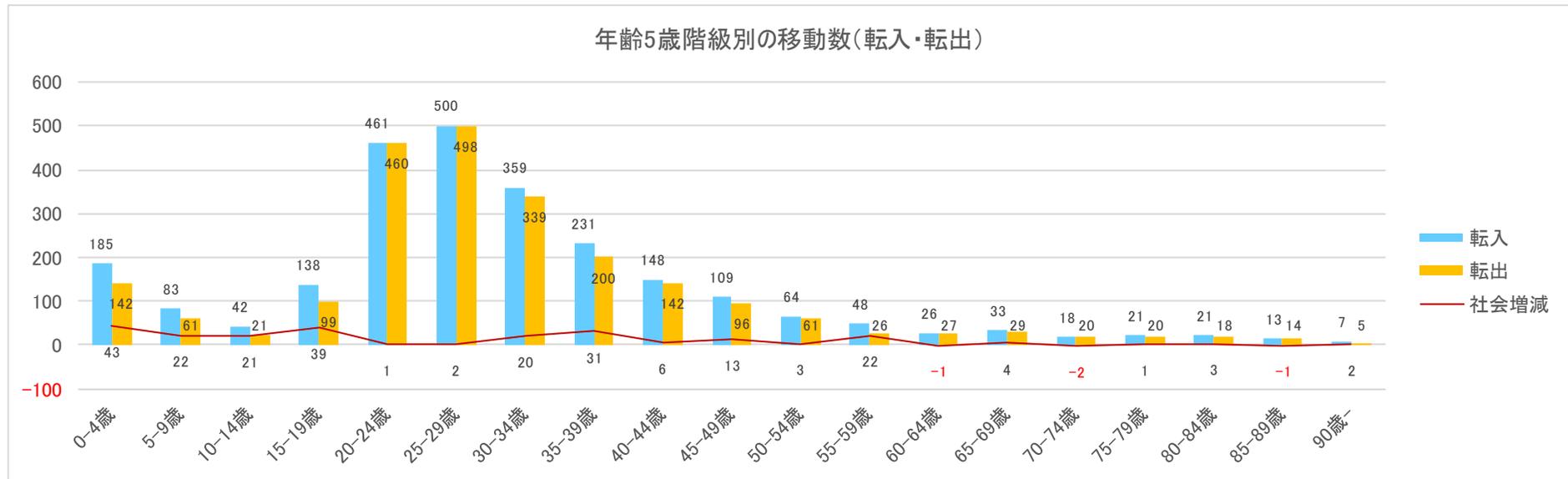
(1) 年齢5歳階級別

ア 概要

- 20～39歳間に各200件を超える転入・転出数がある。
- 年少人口のうち、0～4歳での移動数が5～14歳までと比べて多い。

＜表 11 年齢別転入・転出数＞出典：市民課提供データより算出（2017年4月1日～2018年3月31日 移動分）※抽出作業日の違いにより表9とは合計数値が異なる。

	0-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-	合計
転入	185	83	42	138	461	500	359	231	148	109	64	48	26	33	18	21	21	13	7	2,507
転出	142	61	21	99	460	498	339	200	142	96	61	26	27	29	20	20	18	14	5	2,278
社会増減	43	22	21	39	1	2	20	31	6	13	3	22	-1	4	-2	1	3	-1	2	229



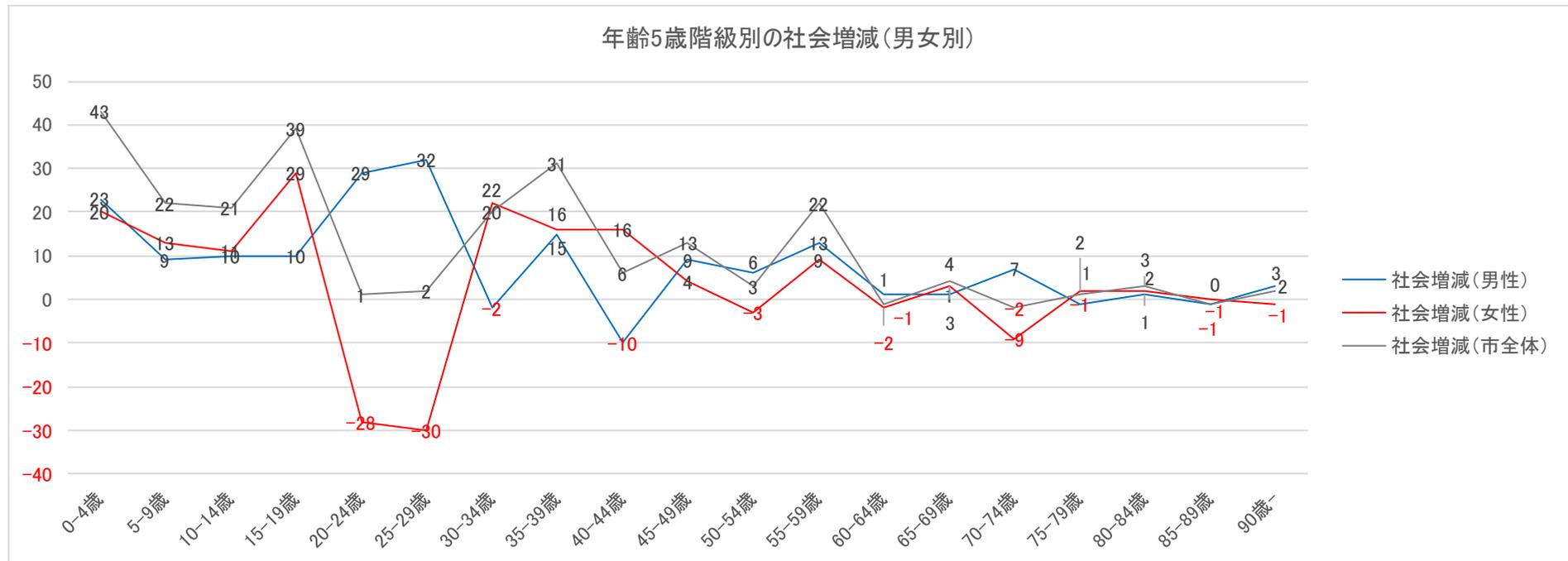
イ 男女別

○男性では、35～49歳での移動が女性に比べて多い。

○女性では、20～29歳で社会減となっている。

<表 12 年齢別転入・転出数> 出典：市民課提供データより算出（2017年4月1日～2018年3月31日 移動分）※抽出作業日の違いにより表9とは合計数値が異なる。

		0-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-	合計
男性	転入	98	40	18	65	248	271	190	136	85	71	42	33	17	18	14	8	8	4	3	1,369
	転出	75	31	8	55	219	239	192	121	95	62	36	20	16	17	7	9	7	5	0	1,214
	社会増減	23	9	10	10	29	32	-2	15	-10	9	6	13	1	1	7	-1	1	-1	3	155
女性	転入	87	43	24	73	213	229	169	95	63	38	22	15	9	15	4	13	13	9	4	1,138
	転出	67	30	13	44	241	259	147	79	47	34	25	6	11	12	13	11	11	9	5	1,064
	社会増減	20	13	11	29	-28	-30	22	16	16	4	-3	9	-2	3	-9	2	2	0	-1	74



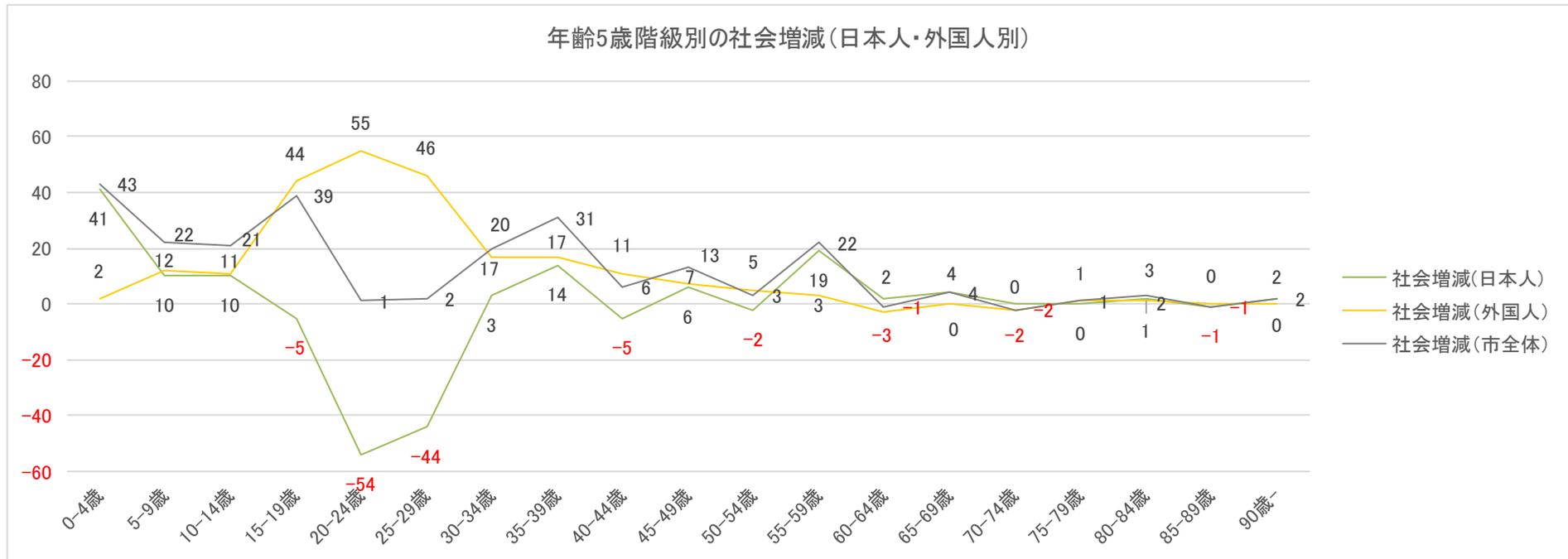
ウ 日本人・外国人別

○外国人はほぼ全ての年代で社会増となっている。

○特に、15～39歳間では日本人が社会減となっているのに対し外国人は社会増となっている。

<表 13 年齢別転入・転出数> 出典：市民課提供データより算出（2017年4月1日～2018年3月31日 移動分）※抽出作業日の違いにより表9とは合計数値が異なる。

		0-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-	合計
日本人	転入	173	67	27	76	331	362	283	175	120	89	50	44	24	32	18	19	20	13	7	1,930
	転出	132	57	17	81	385	406	280	161	125	83	52	25	22	28	18	19	18	14	5	1,928
	社会増減	41	10	10	-5	-54	-44	3	14	-5	6	-2	19	2	4	0	0	2	-1	2	2
外国人	転入	12	16	15	62	130	138	76	56	28	20	14	4	2	1	0	2	1	0	0	577
	転出	10	4	4	18	75	92	59	39	17	13	9	1	5	1	2	1	0	0	0	350
	社会増減	2	12	11	44	55	46	17	17	11	7	5	3	-3	0	-2	1	1	0	0	227



(2) 地区別

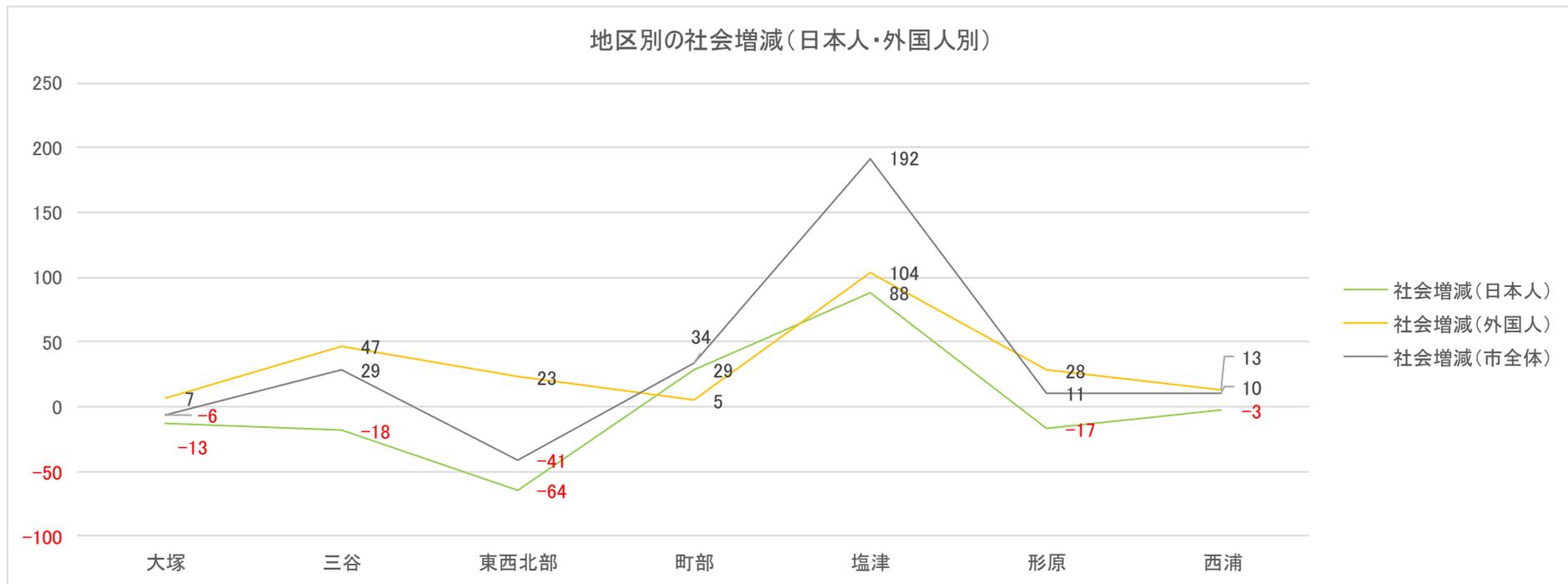
○大塚と東西北部は社会減、その他は社会増となっている。

○三谷・形原・西浦地区は社会増ではあるものの、日本人は社会減であり、増加分は外国人である。

○外国人は全ての地区において社会増となっている。特に三谷・塩津地区への流入が多い。

<表 14 地区別転入・転出数> 出典：市民課提供データより算出（2017年4月1日～2018年3月31日 移動分）※抽出作業日の違いにより表9とは合計数値が異なる。

	大塚	三谷	東西北部	町部	塩津	形原	西浦
日本人	転入	139	306	198	451	451	260
	転出	152	324	262	422	363	277
	社会増減	-13	-18	-64	29	88	-17
外国人	転入	47	113	35	106	179	57
	転出	40	66	12	101	75	29
	社会増減	7	47	23	5	104	28



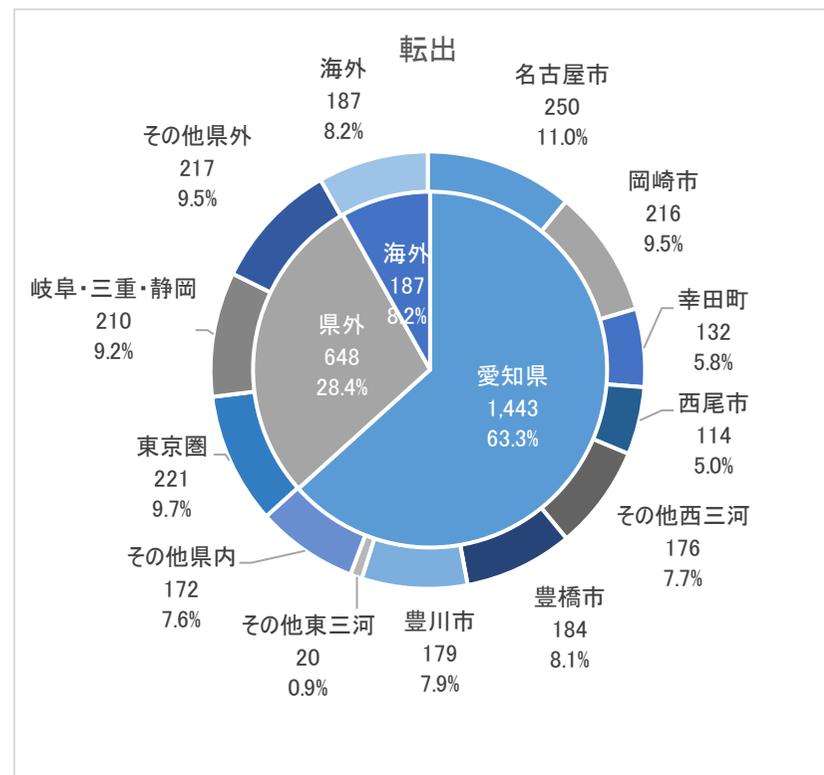
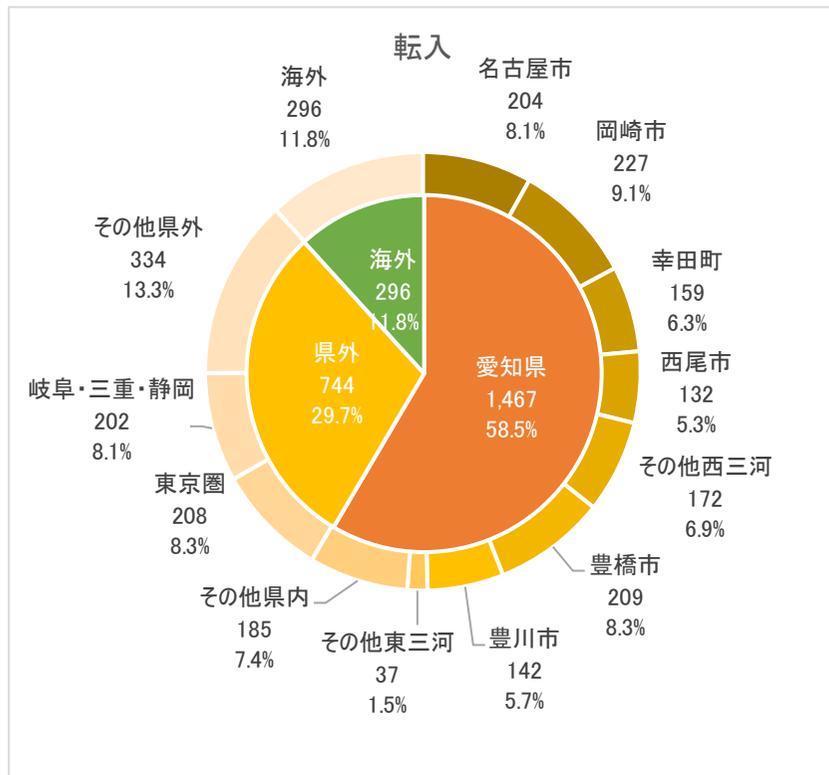
(3) 転入元・転出先

○県内での移動が転入では58%、転出では63%を占めている。

○県内では、転入転出ともに名古屋、岡崎、豊橋が多く、西三河が転入27.5%・転出28%、東三河が転入15%、転出17%となっている。

<表 15 転入元・転出先> 出典：市民課提供データより算出（2017年4月1日～2018年3月31日 移動分）

	総数	愛知県											県外				海外	
		名古屋	西三河					東三河				その他	計	東京圏	岐阜・三重・静岡	その他		計
			岡崎	幸田	西尾	その他	計	豊橋	豊川	その他	計							
転入	2,507	204	227	159	132	172	690	209	142	37	388	185	1,467	208	202	334	744	296
	100%	8.1%	9.1%	6.3%	5.3%	6.9%	27.5%	8.3%	5.7%	1.5%	15.5%	7.4%	58.5%	8.3%	8.1%	13.3%	29.7%	11.8%
転出	2,278	250	216	132	114	176	638	184	179	20	383	172	1,443	221	210	217	648	187
	100%	11.0%	9.5%	5.8%	5.0%	7.7%	28.0%	8.1%	7.9%	0.9%	16.8%	7.6%	63.3%	9.7%	9.2%	9.5%	28.4%	8.2%



- 地域区分
- 西三河
 - 岡崎
 - 幸田
 - 西尾
 - 豊田
 - 刈谷
 - 安城
 - 知立
 - 碧南
 - みよし
 - 高浜
 - 東京圏
 - 東京
 - 神奈川
 - 千葉
 - 埼玉

7 転出入アンケートの結果

回収方法 市民課窓口において、転出入の届出時に任意で依頼
 実施時期 2016年4月から随時
 回答数 954件(2018年4月分まで)

転出	273	男性	159	(17%)
	(29%)	女性	114	(12%)
転入	668	男性	446	(47%)
	(70%)	女性	222	(23%)

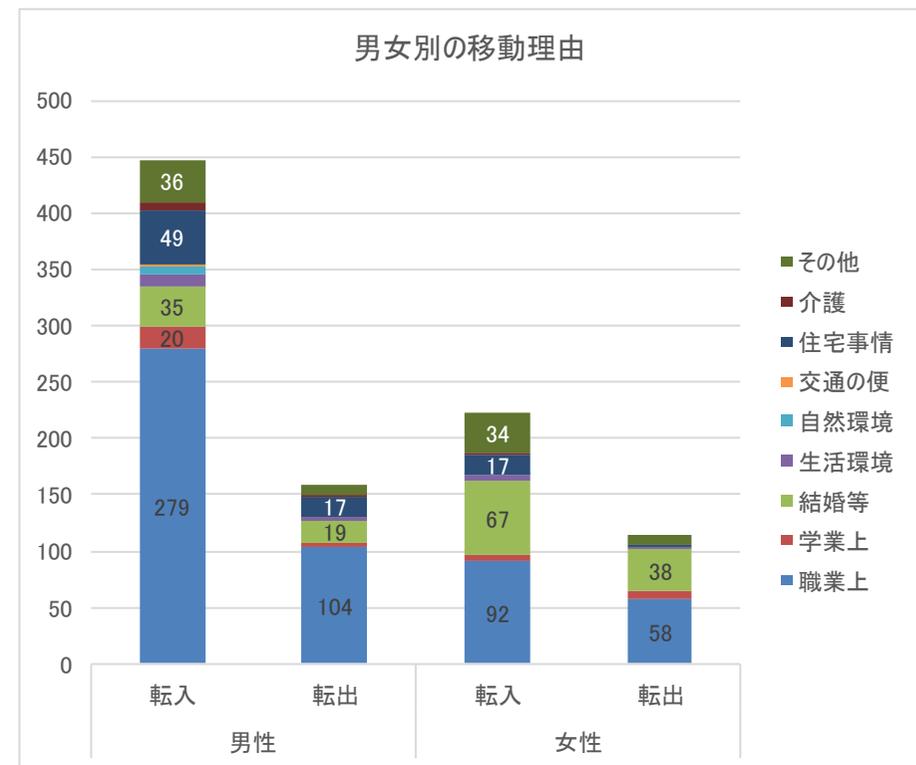
(1) 男女別

○転出入の理由は、男女ともに「職業上」、「結婚等」、「住宅事情」の順に多い。

○女性は男性に比べて「結婚等」が約3倍となっている。

<表 16 男女別の移動理由>

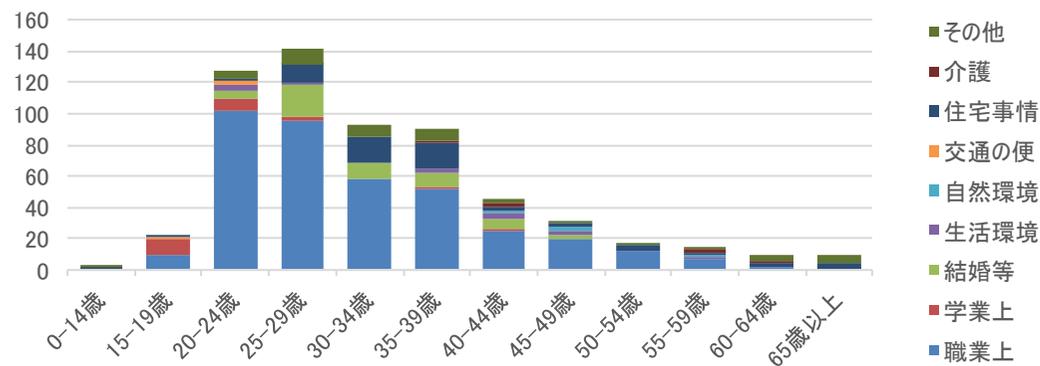
	男性				女性			
	転入		転出		転入		転出	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
職業上	279	62.6%	104	65.4%	92	41.4%	58	50.9%
学業上	20	4.5%	4	2.5%	4	1.8%	6	5.3%
結婚等	35	7.8%	19	11.9%	67	30.2%	38	33.3%
生活環境	12	2.7%	3	1.9%	4	1.8%	1	0.9%
自然環境	6	1.3%	0	0.0%	1	0.5%	0	0.0%
交通の便	2	0.4%	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%
住宅事情	49	11.0%	17	10.7%	17	7.7%	3	2.6%
介護	7	1.6%	2	1.3%	3	1.4%	0	0.0%
その他	36	8.1%	9	5.7%	34	15.3%	8	7.0%
合計	446	100.0%	159	100.0%	222	100.0%	114	100.0%



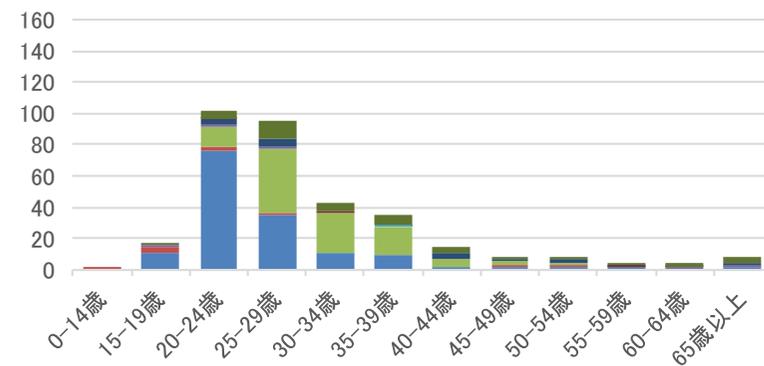
(2) 年齢別移動理由の割合

- 男性では、60歳以上を除いて「職業上」が最も多く50%を超えている。特に、20～24歳にかけては80%を超えている。
- 男性では、「職業上」を除いた2番目に多い理由は、20～24歳にかけては「学業上」、25～29歳にかけては「結婚等」、30～39歳にかけては「住宅事情」となっている。
- 女性では、15～24歳にかけては「職業上」が最も多いが、25～39歳にかけては「結婚等」が最も多くなっている。

年齢5歳階級別の移動理由(男性)



年齢5歳階級別の移動理由(女性)



<表 17 20～39歳の男女別移動理由>

	男性								女性							
	20-24歳		25-29歳		30-34歳		35-39歳		20-24歳		25-29歳		30-34歳		35-39歳	
	回答数	比率														
職業上	102	80.3%	95	66.9%	58	62.4%	52	57.1%	76	74.5%	35	36.8%	11	25.6%	9	25.7%
学業上	8	6.3%	3	2.1%	0	0.0%	1	1.1%	3	2.9%	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%
結婚等	5	3.9%	20	14.1%	10	10.8%	9	9.9%	13	12.7%	41	43.2%	25	58.1%	18	51.4%
生活環境	4	3.1%	2	1.4%	0	0.0%	3	3.3%	1	1.0%	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%
自然環境	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.9%
交通の便	2	1.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
住宅事情	2	1.6%	11	7.7%	17	18.3%	16	17.6%	3	2.9%	6	6.3%	0	0.0%	0	0.0%
介護	0	0.0%	1	0.7%	0	0.0%	2	2.2%	1	1.0%	0	0.0%	1	2.3%	0	0.0%
その他	4	3.1%	10	7.0%	8	8.6%	8	8.8%	5	4.9%	11	11.6%	6	14.0%	7	20.0%
合計	127	100.0%	142	100.0%	93	100.0%	91	100.0%	102	100.0%	95	100.0%	43	100.0%	35	100.0%

(3) 地域別移動理由

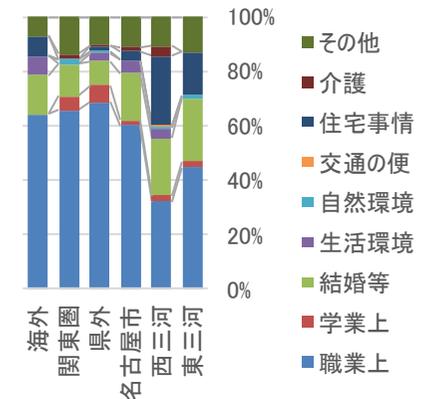
○全ての地域において、「職業上」が最も多い。

○対東三河・西三河においては、「結婚等」「住宅事情」が多く、対県外においては、「学業上」の割合が他地域と比べて多い。

<表 18 地域別移動理由（転入）>

		東三河		西三河		名古屋市		県外		関東圏		海外	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
転入 n=668	職業上	48	44.9%	47	32.2%	38	60.3%	167	68.4%	38	65.5%	9	64.3%
	学業上	2	1.9%	3	2.1%	1	1.6%	16	6.6%	3	5.2%	0	0.0%
	結婚等	25	23.4%	31	21.2%	11	17.5%	21	8.6%	7	12.1%	2	14.3%
	生活環境	0	0.0%	5	3.4%	3	4.8%	7	2.9%	0	0.0%	1	7.1%
	自然環境	1	0.9%	1	0.7%	0	0.0%	2	0.8%	1	1.7%	0	0.0%
	交通の便	0	0.0%	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	住宅事情	17	15.9%	37	25.3%	2	3.2%	5	2.0%	0	0.0%	1	7.1%
	介護	0	0.0%	5	3.4%	1	1.6%	1	0.4%	1	1.7%	0	0.0%
	その他	14	13.1%	16	11.0%	7	11.1%	25	10.2%	8	13.8%	1	7.1%
	合計	107	100%	146	100%	63	100%	244	100%	58	100%	14	100%

地区別の移動理由（転入）



<表 19 地域別移動理由（転出）>

		東三河		西三河		名古屋市		県外		関東圏		海外	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
転出 n=273	職業上	19	43.2%	32	41.6%	21	70.0%	58	75.3%	28	84.8%	4	66.7%
	学業上	0	0.0%	0	0.0%	1	3.3%	8	10.4%	3	9.1%	0	0.0%
	結婚等	12	27.3%	28	36.4%	7	23.3%	3	3.9%	2	6.1%	1	16.7%
	生活環境	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.6%	0	0.0%	0	0.0%
	自然環境	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	交通の便	0	0.0%	1	1.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	住宅事情	7	15.9%	10	13.0%	1	3.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	介護	1	2.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.3%	0	0.0%	0	0.0%
	その他	5	11.4%	6	7.8%	0	0.0%	5	6.5%	0	0.0%	1	16.7%
	合計	44	100%	77	100%	30	100%	77	100%	33	100%	6	100%

地区別の移動理由（転出）

